

令和5年度

赤羽根の里だより

茅ヶ崎市立赤羽根中学校 学校便り

令和5年11月16日(木)

校長 高橋 励

Dear Student(*^_^*)

続・ユニバーサルデザイン (みえないやさしさをみえるこうどうに)

おかげさまで、リハビリも1段階進み、今週から左足にも靴を履いて生活しています。

日に日に寒さが染みてきますね。朝の正門の光景もマフラーを巻いたり部のウインドブレーカーなどを羽織る人がいるかと思えば、ワイシャツ姿で登校する人も…。暑さ寒さの感じ方は人それぞれですので自分の体の声によく耳を傾けて、できない無理をさせないようにご用心!

ところで、朝の正門といえは、“チームおはよう”のみなさんの“質”が夏から秋にかけてグッと高まったように思えます。特に自然にあふれ出る“アイコンタクト”と“スマイル”は、誠実さとやさしさが伝わってくるようで、朝から心地よい気持ちにさせてもらっています。

そういえば、今週月曜日、小和田小学校と合同の学校評議員会での懇談のなかで、みなさんを見守ってくださっている地域の方からこんなお話を聞きました。

「赤羽根中の生徒さんの多くは、登校時、せまい歩道で小学生のために道をあけてくれる自然なやさしさがあってとてもすてきだと思。でも、よけるときに車道に降りているのがちょっと心配…。事故に巻き込まれないように気を付けて、と伝えてほしい。」とのことでした。

自分の周りに自然にやさしく振る舞える人って“ユニバーサルなデザイン”なんだらうなあ、って

思うのです。そんなステキな人たちがいる赤羽根中学校のみなさんに一つお願いです。

わたしはこれから先、リハビリを兼ねて補装具なしで校内を巡ろうと思っていますが、実は「ちょっと怖いなあ」と感じていることが。

それは、ときおり「どっ!どっ!

どっ!どっ!」と響いている

廊下や階段を駆け抜ける

足音(6月9日号でも一度話題にしています)。

ケガをする前の私であれば「中学生にぶつかられたくらいなら持ち応えられる」と思えたでしょうが、今は受け止めて足を踏ん張った次の瞬間に8月23日の振り出しに戻る危険性が。場合によっては倒れたはずみで周りのだれかを巻き込んでケガをさせてしまうかもしれないし、何より「人にケガをさせることになる」という想像ができないために危険に気づかず走っている人」を加害者にしてしまう可能性もあります。

昭和時代に建てられた赤羽根中の校舎にユニバーサルデザインを見つけることは難しいかもしれませんが、でも、これから令和を築いていくみなさんが生活する場の雰囲気ユニバーサルなデザインにすることができるとは。たぶん、今のわたしが安心して歩ける学校は、多くの方が安心して歩けるやさしい学校だといえると思うのです。

地域でも、校内でも、やさしさを感じさせる人であってほしいと思う校長からのお願いです。今のわたしが安心して廊下に出られるように、あなたができることで協力をお願いしますね。

(裏面もありますよ)



Dear Student(*^_^*)

「希望の光」を支えた人たち

今週の水曜日、「感謝の手紙を届けたい」という小和田小学校6年生の訪問を受けました。

彼女たちはチーム「SunflowerKOWADA」。今年の全日本ダンスコンクールの東日本大会で金賞を受賞したそうです。

タウンニュース(9月15日)の記事を引用すると「練習には初の全国出場を決めた卒業生らも応援に駆け付け、大会前にはチーム19人全員に激励の手紙を贈るなどして、緊張する児童らの背中を押した。」ということで、その感謝の気持ちも伝えたい、ということでした。

この「卒業生」たち(「2代目」と呼ばれているようです)のエピソードは、学校では見えない赤中生のステキな姿を教えてくださいました。

ステキだなあ、と思ったことがもう一つ。

「SunflowerKOWADA」のメンバーは、自分たちから先生に「感謝の手紙を渡したい」と申し出たのだそうです。自分たちで考えて行動に移した小学生の彼女たちがとてもステキに思えまし

た。と同時に、彼女たちにそう思わせた「2代目」のみなさんの行動がやっぱりステキだなあ、と改めて思いました。「SunflowerKOWADA」の練習に「2代目」が駆け付けたのは夏休み中。それぞれ今の自分の部活動や習い事の合間だったのだらうと思われま。そんな限られた自分の時間を「後輩」のために使う姿、ステキだと思いませんか。

主役は「SunflowerKOWADA」なので、タウンニュースでは「2代目」の名前も写真も出ていませんしここでもあえて名前は載せません。でも、こんなステキな15人がいることをお伝えしたかったので取り上げました。

3代目の希望でタウンニュースと手紙を校内に掲示してほしいということでしたので、校長室の前に貼っておきますね。

そういえば、10月26日号でボランティアなどの催しを紹介しましたが、校長室に声をかけてくれた人や参加した感想を報告してくれた人がいてうれしかったです。誰かのために重ねる経験は、必ず自分の中に残り続けて、いつか自分を支えてくれると私は思っています。「情けは人のためならず」ですね。

～保護者の皆さまへ～

令和6年度の諸費自動引き落とし金融機関の準備について

ご連絡が遅くなりご心配をおかけいたしました。9月26日号の学校だよりでもお知らせしたこの件ですが、当初の予定に少し変更があり、市内各中学校で準備日程をずらしながら進めることになりました。「自動振込用利用申込書」の記入・提出は年が明けてからの対応になります。用紙の配付もまだしておりません。「うちの子が持ってこない」というわけではありませんのでご安心ください。

第4回保護者と教師の会(11月14日)

各学年の代表の方にお集まりいただき、全体と学年ごとの懇談をさせていただきました。全体的な話題の一つとして小和田小学校区青少年育成推進協議会から「中学生と大人のつどい」(2月23日(祝日)・「ふれあい講座」と同時開催)への協力依頼がありました。子どもたちが学ぶ環境づくりのために時間を割いてくださっている方がここにもいることをお伝えしておきます。

～流行性角結膜炎の拡大が懸念されています～

市から学校への注意喚起もありましたが、今週、目の痛みなどで保健室に来る生徒が散見されます。保健室では治せません。まずは眼科で診察を受けてください。